実	施言	計画・事	務事業評	価共	通調書									郭	入日		亚成%	3年3月31日
[P	.AN	事務事業	の計画		事務事業	长 号	1									4 市 5		<u>5年5月31日</u> 「務局経営管理部
È	J1 11 1	1 7 10 7 N					評価区分	}	事務事業性	質	政策	彰的事	業	後期基				所管省庁
	事務事業名 第2次笠間市立病院		※事業名 第2次笠間市立病院改革プランの推 第2次笠間市立病院改革プランの推			重要事務事		2	0		画重点視点		助					
			進				評価事業	彩	総合計画実施		0					単細	市単独	
総	政	政策	3 共に支え	あい, 健	やかに暮らせ	るまちづ	くり〔健康・福	祉〕	新規・継続	Ē	j	継続				独区	上 田 ☆	2
合	策	小政策	2 日々の傾	康を支え	える安心な保険	建・医療の)体制を整えま	す	事 開始年	变	終	了年度	:			分	補助率	2
計	体	施策	1 保健・日	医療				j 1	期 H24			H26	Î	北思孝	. FIE 157	回从		
画	系	小施策	4 医療体	制の充	実				間			П20		共惟有	共催者・関係団体			
	予	会計	款		項		目		細目名			連計画		公立病	院改革	直ガイ	ドライン	/
	第	病院	病院事業領		医業費用						根	拠法令) i					
	斗			2	医業外費用						5	実施手		補	助金	の有	無	負担金の有無
												直営						
			と体概要及び						Tう業務内容及					度目標】	4	【事	業費の	内容(決算額)】
			院改革ガイド					の対応	芯, 医師確保対	 策, 地	地域医			患者数				
			市立病院改革		療連携体制			L 20	E費の削減, 医	本 旦 時	生しず			19人 15人				
			を策定し計画				ポープローシード と、ICT化の推			**************************************	サノヘリ		八.1	10/				
する	3221	こより, 公立	:病院としての	役割を	•院内組織体	本制の強	· 论	- */										
			基盤を強化し	経営の	・職員の意識	哉改革(目標管理の徹	底, 鵈	機員の共通認識	哉)								
女	E1ビる	と図る。																
						H26事	業計画			H27	事業	計画					H28事業	(計画
					同上		同上					同上						
					第3次病院引	女単フフ.	ンの策定	の策定										
-																		単位
	1									4	Ħ	市民						人
	① ×		_ , ,		市民					対象		1114						
目	(働	きかける相	手・もの)		1,1,2					指標								
的	⊚ ≢	水中米のユ	意図(どのよう	1=1 ±1 ×	八支岸陸山	ナの犯	生 田 と 上 1	1.4 17	経営基盤を強	(5)		日平均	入院	忠者数				人
			』図(とのより :熊にしたいℓ		化し経営の			2612	栓呂基盤を強	灰爿				E 患者数				人
	0213	5 C JV JW	()E(CO/CV V	213.)	にの座台・グ	久た旧で	- IZI.9			指標				金(病院)	軍営補	助金)	円
-	医療機能の充実(医療機器整備,施								6	_	人院診療						日	
手	手 の日的な達成するために実際に 経営の健全化(病尿			(病床利用	率の向上, 経費	等の削	減,収入の確保	活動		卜来診療	新日	数				日		
权	段 行った行政活動(サービス) 等) 職員の意識改革(目標管理の徹底,院内勉強					勉強会	の開催等)	指標	票 —									
I D	【DO】事務事業の実施																	
尹 :	事業費及び指標の推移 事業費 単位 22年度(実績) 23年度(実績) 24年度(実績) 25年度(実績) 26年度(計画) 27年度(計画) 28年度(00年度(31元)										
		事業費		単位		(実績)	23年度(実	領) 2	4年度(実績)	25年	皮(夫績)	26 [±]	上度(計画	町) [27]	/牛皮	(計画)	28年度(計画)
			車支出金	千F														
投		財県	支出金:	千F	円													

事	事業費及び指標の推移										
		事業費 単位 22年度(実績)				23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	27年度(計画)	28年度(計画)
			国庫支出金	千円							
投		財源	県支出金	千円							
入	事業費	源内	地方債	千円							
コス	表費	訳	その他	千円							
ト			一般財源	千円							
·			事業費計(ア)	千円	0	0	(0	0	0	0
イン			職員割合	人 千円	0	0	0.25 1,875	0.480 3,600	0.480 3,600	0.480 3,600	0.480 3,600
プ	人		時間外	千円							
ッ	件		嘱託臨時	千円							
7	費		他課の協力分	千円							
			人件費計(イ)	千円	0	0	1,875	3,600	3,600	3,600	3,600
	トー	ータノ	レコスト(ア)+(イ)	千円	0	0	1,875	3,600	3,600	3,600	3,600
		扌	旨標区分	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
活			療日数	目	365	366	365	365	365	366	365
動	外到	×診	療日数	目	243	244	245	244	244	242	244
指標											
対	市国	民		人	79,409	78,862	78,279	77,723	77,723	77,723	77,723
象 指											
標											
成田			的入院患者数	人	15.6	14.8	14.9		24.0		26.0
果指	1日	平均	的外来患者数	人	88.0	95.5	97.4	100.8	120.0	125.0	130.0
標	基準	外繰	出金(病院運営補助金)	円	69,648	50,648	59,000	50,000	50,000	45,000	45,000

社会情勢の変化・市民ニーズの把握

14会情労の後化・加民ニースの化権 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 高齢化が進展するなか,市民が住みなれた場所で安心して生活ができるように,安心・安全な医療の提供が求められている。

【CHECK】事務事業の一次評価

	orner Table								
必		範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》							
必要	②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》							
性評価	_	地域に密着した医療機関として、効率的な運営に努めるために必要な事業である。							
ІЩ	□□見直しの余地がある								
	③成果の向上余地 《成果は,昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》								
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	り施策への波及効果があるか?》							
性評	□ 向上の余地がない	県立中央病院との連携強化を図り、毎週医療カンファレンスを行ったことにより入院患者を 単やすことができ、また、物忘れ外来の開催や特定保健指導の実施、入院セットの導入な							
曲		どにより、新たな収入を確保することができた。							
	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》							
郊率	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削	減できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》							
性評	□ 削減の余地がない	採用医薬品の見直しやジェネリック医薬品の採用拡大により事業費の削減に努め、また							
価		看護師や看護助手の非常勤職員の削減により人件費の削減に努めている。							
	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)							
	必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある								
	有効性 🗌 適切 🗹 見直しの余地がある	第2次市立病院改革プランは、公立病院としての役割を果たし、病院経営の健全化を図るための指針となるものである。							
	効率性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある								

(ACTION)	事務事業の改革・改善

フォローアップ 前年度の課題や問題点

①改革•改善案	③前年度の改革・改善案
課題なし	
②改革・改善案を実現する上で克服するべき課題と解決方法	④取組状況

その他	
⑤事務事業を休止.	廃止した場合の成果への影響

□代替案や対策を採ることで対応できる

の有無とその対策	,	
☑ 影響は大きく,	問題の発生が予想される	

⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)

☑ 他に手段がない

□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)

名称

□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の計画

			評価理由
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	
₩C □ □ □ □ □ □	資源配分	現 状 維 持	市民に安心・安全な医療を提供するため、現行どおり継続実施する。

実加	包記	計画·事	務事業評	価共i	通調書							量量	入日		亚比26	年3月31日		
		】事務事業			事務事業	****	9									平3月31日 務局経営管理調		
T L	-AIN	】					評価区分	事務事	業性質	政策	質的事業	後期基		補		所配在百年的 所管省庁		
事	事務事業名		業名 平日夜間· 進		業名 平日夜間・ ***		期救急診	療の推		重要事		2001	0	画重点		助		
			進				評価事業	総合計画		ii	0				国補助	厚労省		
総〕	政	政策	3 共に支え	あい, 健 [、]	やかに暮ら	せるまちづ	くり〔健康・福祉〕	新規·	継続	j	継続			独区	法叫求			
合	策	小政策	2 日々の健	康を支え	る安心な例	尺健・医療ℓ)体制を整えます	事開	台年度	終	了年度			分	補助率			
計	体	施策	1 保健・医	療				業期	H22	単年	主婦い に	共催者・	則核	田休	県立中央	病院, 笠間市医師		
画		小施策	4 医療体管	制の充乳				間				ン共催化	因別	四件	会, 県薬剤	削師会笠間支部		
子		会計	款		項		目	細目	3		連計画							
算		病院	病院事業費	計 [医業費用		合与費				拠法令		A 1 H					
科目	٠						才料費				実施手法		助金		烘 复	負担金の有無		
	# 4	ケ古米の人			O THOS		経費 (2) (2) (2) (2) (2)	· ハー > ユルマケー	マロス		一部委託		0		光曲の日			
			全体概要及び :,薬剤師会,				(主に担当者が 日の初期救急診験		対谷及び	* 手順)		速目標】 均患者数	4 報		美質のド	内容(決算額)】 15,377千円		
			、衆刑叫云, 「立病院におい				~22:00(12/30~)			7)忠日 致 診療: 3.7.		料費		2,087千円		
期救	急討	診療を実施⁻	することにより,	笠間			7:00(12/31~1/					診療:40.0				2,796千円		
			ナービスの向_															
			院との機能分 して暮らせる															
		性する。	して合りです	地域江														
						口06車	業計画		L	127事業	計画			I	H28事業	計画		
					同上	H20 →	耒 訂四	左に同		121 尹来	計画	-	左に同		120 尹来	計画		
					, ,	療時間を]	9:00~21:00に		,0			(T.(C)					
					する													
5 事	1.	事業の目	的レ毛段													単位		
			H)C 1 4X							(4) I	ī民					人		
		対象	エィの)		市民					対象								
	側で	きかける相	手・もの)							旨標								
的	②事務事業の意図(どのようにしたい			こしたい	亚日夜間	レ日曜日の		ことの古足へ				間診療患				人		
		か。どういう状態にしたいのか)			を提供する		/10/29/108/101/2015/18/10	-4711177	力		日平均日	曜診療患	者数			人		
\vdash									打	指標 初期救急診療日数					н			
					平日夜間診療:19:00~22:00(12/30~1/3は除く)					6				日				
段	<u>3</u> E	目的を達成	するために多	実際に			$7:00(12/31\sim1/31)$		17	舌動 一								
1	けつ	た行政活	動(サービス	.)			. , ,	, ,	打	旨標 一								
[DO]事	務事業の	実施															
事業	費	及び指標の	の推移															
		事業費	·	単位	7. 22年	度(実績)	23年度(実績)	24年度((編集) (25)	5年度(実績) 26	年度(計画	町)27	'年度	(計画)	28年度(計画)		
			· 車支出金	千円		0			,526		3,442	3,4	_		3,478	3,478		
							3,100	,	,020		5,112	0,1	10		0,110	0,110		
投 .		酒	支出金	千円														
入	業	内	地方債	千円														
コ	曹	訳	その他	千円	3	21,932	14,098	15	,184	10	6,818	16,5	22		16,522	16,522		
ス	`		·般財源	千円	3													
<u> </u>			貴計(ア)	千円		21,932	17,564	18	3,710	20	0,260	20,0	00		20,000	20,000		
イ			割合		·円	0			750 0.		1,080 0.		80 0.		1,080			
ン	,		間外	千円		U		5.10	. 50		_,,,,,,		0.	_ 11	2,000	1,000		
	人																	
ツ 1	件費		- 佐藤時	千円														
	貝		協力分	千円														
			費計(イ)	千円	3	0	0		750		1,080	1,0	80		1,080	1,080		
	<u></u>	・タルコスト	(ア)+(イ)	千円	3	21,932	17,564	19	,460	2	1,340	21,0	80		21,080	21,080		
		指標区	分	単位	7. 22年	度(実績)	23年度(実績)	24年度(美績) 25	5年度(実績) 26	年度(目標	票) 27	'年度	(目標)	28年度(目標)		
Y- 1	打其	財教急診療		月		295			297		297		98		296	297		
(白 —	レイアう	7.1八四时/万	\ \pi \ 2\^	Н		250	231		201		201		55		200	231		
動 指																		
標-																		
対「	市巨	3		人		79,409	78,862	78	3,279	7	7,723	77,7	23	_	77,723	77,723		
象 指									f									
指 標																		
	1 🗆	亚松秀胆	診療患者数	Ţ		2.9	3.4		3.5		3.2		3.5		9.6	3.7		
果				人											3.6			
指 -	ΙĦ	平均日曜	診療患者数	人		33.9	40.3		38.1		37.1	40	0.0		41.0	42.0		
標																		

社会情勢の変化・市民ニーズの把握						
事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境 休日や夜間の緊急時にも安心して医療が受けられるよう	きの変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 地域の教急医療体制の充実が求められている					
アロイ仅同ツ糸心呼にひ女心して広源が文けりまします	,追吹v/tx/芯区原 Pilliv/元 Provide Cv で。					
【CHECK】事務事業の一次評価						
	範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
必要 ②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的性》 (ロ) 海切でもス	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》 					
	也域の救急医療体制を守り,市民に医療サービスの向上と安心を提供するために必要な					
価 □ 見直しの余地がある	事業である。					
③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうで	」 あったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》					
有 ④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	施策への波及効果があるか?》					
性口点にの合地がない						
詳 価 <u></u>	断らない医療(検査,外科,小児科等)を提供することで,患者数を増やすことができる。					
□ □ 向上の余地がある						
⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》					
平	減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》					
性 削減の余地がない	看護師の数を減らすなど人件費の削減に努めており、さらに平日夜間の午後9時以降の患					
価 ☑ 削減の余地がある	者来院数が少ないため,平成26年度からは午後9時以降の診療時間を1時間短縮して事業費の削減に努めている。					
一次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)					
	ZITTO IA CACOTE DI CATALO					
必要性 適切 見直しの余地がある	ま立定院 医師会 変対師会 頂立山山岸院の連携体力のよし 効用地区の知期兼急勢					
有効性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある	市立病院, 医師会, 薬剤師会, 県立中央病院の連携協力のもと, 笠間地区の初期救急診療を実施しているものである。					
効率性 □ 適切 ☑ 見直しの余地がある						
【ACTION】事務事業の改革・改善フォロー	ーアップ 前年度の課題や問題点 その他					
	・ 度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響					
課題なし	の有無とその対策					
	☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される					
	□代替案や対策を採ることで対応できる					
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性(民間活動					
	も含む)					
②改革・改善案を実現する上で克服するべ ④取組	☑ 他に手段がない 状況 □ 他に手段がある(事務事業名・活動名)					
き課題と解決方法						
	名称					
	□ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる □ 応廃合や連携はできない・既に連携している					

【PLAN】事務事業の	の計画		
			評価理由
総合評価	今後の方向性	現行どおり継続	
松公口 計1川	資源配分	現 状 維 持	夜間と休日における救急医療体制を守るため、現行どおり継続実施する

実施計画•事務事業評価共通調書 平成26年3月31日 記入日 【PLAN】事務事業の計画 所属部課名 市立病院事務局経営管理課 評価区分 事務事業性質 政策的事業 後期基本計 所管省庁 筑波大学病院連携事業 助 事務事業名 重要事務事業 画重点視点 (指導医派遣・研修生受入) 市単独 評価事業 崩 総合計画実施計画 \bigcirc 独 政策 3 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり〔健康・福祉〕 新規・継続 継続 政 総 区 補助率 策 小政策 2 日々の健康を支える安心な保健・医療の体制を整えます 開始年度 終了年度 合 分 計 体 施策 保健•医療 茨城県 期 単年度繰り返し 共催者•関係団体 H22 画 系 小施策 4 医療体制の充実 筑波大学 間 会計 款 項 目 細目名 関連計画 算 病院 病院事業費用 医業費用 経費 根拠法令 科 実施手法 補助金の有無 負担金の有無 目 直営 【事務事業の全体概要及び背景】2【H25事業計画(主に担当者が行う業務内容及び手順)】 3【年度目標】 4 【事業費の内容(決算額)】 筑波大学との連携により, 市立病院に ・学生の受入れを行い地域医療に関心のある医師を養成する 指導医の診療枠 宿借上料 312千円 「地域医療研修ステーション」を開設し ・指導医の派遣を受け、診療内容の充実を図る 3日:4コマ 訪看指導委託料 60千円 指導医と研修生を受入れ理想的な地域 ・引き続き研修施設に指定されるよう受入態勢を整備する 医療教育を実践することで、地域医療に ・医師の後期研修病院となるため、大学と連携協定を締結する 従事する医師の養成と地域医療の充実 を図る。 H26事業計画 H27事業計画 H28事業計画 同上 左に同じ 左に同じ 笠間市が単独で筑波大学と契約を締結 する 事務事業の目的と手段 単位 4 指導医 ①対象 研修生 指導医及び研修生 対象 人 (働きかける相手・もの) 目 指標 的 指導医の診療枠(午前・午後) コマ/週 (5) ②事務事業の意図(どのようにしたい 地域医療に関心のある医師を養成するとともに指導 成果 のか。どういう状態にしたいのか) 医の派遣により診療内容の充実を図る 指標 指導医の外来診療日数 日/週 (6)

事	事業費及び指標の推移																	
	事業費			単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(計画)	27年度	(計画)	28年度	(計画)
			国庫支出金	千円														
投		財	県支出金	千円														
入	→	源内	地方債	千円														
コ		訳	その他	千円		54		69		65		80						
スト			一般財源	千円		300		300		300		292		22,000		22,000		22,000
			事業費計(ア)	千円		354		369		365		372		22,000		22,000		22,000
イ			職員割合	人 千円		0		0	0.10	750	0.144	1,080	0.144	1,080	0.144	1,080	0.144	1,080
プ	人		時間外	千円			•											
ッ	件		嘱託臨時	千円														
1	費	他課の協力分		千円														
$\overline{}$			人件費計(イ)	千円	千円 0		0 750			1,080		1,080		1,080				
	トー	-タ)	シコスト(ア)+(イ)	千円		354		369		1,115		1,452		23,080		23,080		23,080
		扌	指標区分	単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	24年度	(実績)	25年度	(実績)	26年度	(目標)	27年度	(目標)	28年度	(目標)
活	指導	享医の	の外来診療日数	日/週		2		3		3		3		3		3		3
動																		
指																		
標																		
対	指導	享医		人		2		2		2		2		2		2		2
象指	象研修			人	37		37		34			35	40		40			40
標																		
成	指導	医の	つ診療枠(午前・午後)	コマ/週		3		5		4		4		11		11		11
果指																		
標																		

活動

指標

研修生の受入:1年生14名,5年生21名

指導医の派遣:2名(4コマ診療、ストレス外来等)

手

段

9

③目的を達成するために実際に

行った行政活動(サービス)

社会情勢の変化・市民ニーズの把握 事務事業を取り巻く環境《対象や法令根拠及び社会環境の変化(開始時期又は5年前との比較)・市民からの意見や要望》 全国的に医師不足の状況にあり,地域医療に従事する医師を養成する必要がある。 【CHECK】事務事業の一次評価 ①行政関与の必要性 《目的達成に向けて,行政の範囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》 ②総合計画との整合性、対象と意図の妥当性 《目的(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》 要 性 ☑ 適切である 全国的にい師不足の状況にある中,地域医療に従事する医師を養成する目的の事業であ 評 価 り、指導医の派遣により市立病院の医療体制も充実することから必要な事業である。 □ 見直しの余地がある ③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうであったか?工夫をすることで今後, 更なる成果向上ができるか?》 ④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の施策への波及効果があるか?》 玅 性 □ 向上の余地がない 筑波大学との連携を拡充することにより,後期研修医の派遣受入が可能になるなど,さらに 価 診療体制の充実を図ることができる。 ✓ 向上の余地がある ⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の見直し, 市民の協力など)》 ⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削減できないか?(業務プロセスの見直し,個々の業務の効率化等,業務委託や臨時雇用等)》 性 ✓ 削減の余地がない 平成25年度までは県事業で実施されているため,削減の余地がない。なお,平成26年度 評 は笠間市が筑波大学と単独で委託契約を締結する。 価 □ 削減の余地がある 全体総括(振り返り, 反省点) ·次評価結果 ☑ 適切 必要性 見直しの余地がある 地域医療に従事する医師の養成を図ることで,市立病院の診療体制が充実するので必要 $\overline{\mathbf{A}}$ 有効性 □ 適切 見直しの余地がある な事業である。 効率性 ☑ 適切 Ш 見直しの余地がある 【ACTION】事務事業の改革・改善 フォローアップ 前年度の課題や問題点 その他 ①改革•改善案 ③前年度の改革・改善案 ⑤事務事業を休止,廃止した場合の成果への影響 の有無とその対策 課題なし □影響は大きく、問題の発生が予想される ▽ 代替案や対策を採ることで対応できる 市立病院の診療体制の充実を図るためには、県事 業が終了しても, 筑波大学との連携により継続する 必要がある。 ⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む) ■ 他に手段がない ②改革・改善案を実現する上で克服するべ □ 他に手段がある(事務事業名・活動名) ④取組状況 き課題と解決方法 名称 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる

【PLAN】事務事業の計	-画	Ì
--------------	----	---

				評価理由
総合評価	今後の方向性	改善し	<i>、</i> ,継続	古立庁院の診療体制の方字も図えため 古機の発化に トハ 重要もみぎ
が○ ロ pT Щ	資源配分	拡	充	市立病院の診療体制の充実を図るため、連携の強化により事業を改善し継続する。

☑ 統廃合や連携はできない・既に連携している

			勞事 美評	個共理語	河音									ſ	記入		平成2		
[PI	LAN	事務事業	の計画	事	務事業	番号	4												YZ営管理課
		(r = t > 11/2 (r		:h- (+l			評価	区分		事務事業性		建設·	整備事		期基本			所管省	f厅
	事務	务事業名	市立病院團	怪備事業			評価	事業		三要事務事			0	画	重点视		市単独	Į	
,	_,	TL-MA	0 11, 1 - 1 >	Je 1 . Arte ch	.)~#^ ·	フユル ^			総合	計画実施			φr. HB			<u> </u>	虫		
	政	政策	3 共に支え						車	新規・継続	_		新規				補助率	3	
合計	策体	小政策 施策	2 日々の健 1 保健・医		女心な保険	€•医療の	/14刊を整	えます	事業	開始年	戈	終	了年度			2	·		
	14 系	ル ル が が が が た り た り た り り り り り り り り り り り		^転 制の充実					期	H26			H30	共作	崔者・陽	関係団	本		
	バ 予	小 会計	4 医原体		項		目		間	細目名		即	連計画						
	ア 算	病院	病院事業費		点 类費用		 経費			州日和			連訂画 拠法令						
	早 斗	אלאנאלי	MINTT来多	3/11 区 5	尺月川		// 上月						拠伝下 実施手?	夫	補田	力金の有	ョ無	負扣全	の有無
	1	-											一部委託		IIII	() () 亚 () 小	3 3/1/2	- - - -	
	•	」 務事業の全	上 全体概要及び	『背景】 2	【H25事	業計画	(主に担	当者が	行う	業務内容及	みてドニ			年度目	標】		事業費の	内容(決算額)
			昭和54年の		 市立病院			-, LI /V	147	,, +v41 4'H //		. , , , , ,		計画第		報償			90千円
			圣過し,建物					置								食料			23千円
			(患者への負				議会の開		可開	催予定)						消耗	品費		9千円
なっ	って	おり、また、	建物本体は	昭和56 · ī		建設基	本計画の	策定											
			築基準以前																
			久性や火災																
			であるため, 汁」を策定し			H26事	業計画				Н9	7事業	計画				H28事業	性計画	
		「阮登畑刀ぁ」			有立病院	-	^{来計画} 本設計第	定定		• 市立病院				定	• ī	有分病I	п20 <i>争 э</i> 院建設 I		布
71717	1∼ 7	J-CC///	, _ 0	[]	. ·/r 1 P/L	一、一、一	1 HAH1/1	-/-		.,/rapyl	لابµ تب√د	・ノマル凹	RAPIZK	/ -		(H28~			_
																	.,		
5	車3	務事業の目的	的上手即																単位
0			リレ 丁秋								(4) #	ī民						人
		対象	-) - \	市	民						対		• 114						
目	(働	きかける相	+・もの)	. 13	. •						指								
的	<u></u>	お外事状ので	手図 (12のよう	71 +1 · -	日がかり	・ファロ	が近ける	カフ μ≻	F #	担件件件	(5	1	日平均力						人
			意図(どのよう) 態にしたいの		民が安心 整備を図		い受けら	れるよう	医獠	樣供体制	成	果 1	日平均タ						人
	V)/,	っ。こういう仏	によくこしていり								指	標							
					立病院整						@		、院診療						月
手	(3)	目的を達成	するために乳		立病院指						活		ト来診療	日数					日
段			動(サービス		立病院建	取 励譲	マツ州惟				指								
<u></u>	01-	すみすやへ	字坛																
حق	_	事務事業の																	
争		及び指標の						/ · I · * · ·					1.7.5		/ - · ·		-1- (-1		-1. (-1
		事業費		単位	22年度	(実績)	23年度	(実績)	245	年度(実績)	25年	F度(実績) 2	6年度	(計画)) 27年	度(計画)	28年	度(計画)
			車支出金	千円					L										20,000
投		財県	支出金	千円															
入	事	源	也方債	千円							1						90,000)	270,000
	業	内	<u>にカ 頃</u> その他								1		-+				50,000	+	2.0,000
コス	費	H/ \		千円															
<u>۱</u>			般財源	千円									122		30,000	0			
		事業費	計(ア)	千円		0		0		0)		122		30,000	0	90,000)	290,000
イ		職員	割合	人		0		0		0	0.1	80	1,350	0.180	1,350	0.18	0 1,350	0.18	0 1,350
ン	ı		117.0 間外	千円							1			-	,		,,		,0
プ	人										1								
ツ	件費			千円															
1	貨		協力分	千円															
		人件費	計(イ)	千円		0		0		0)		1,350		1,350	0	1,350)	1,350
	}-	ータルコスト	(ア)+(イ)	千円		0		0		0)		1,472		31,350	0	91,350)	291,350
		指標区分		単位	29年度	(実績)	23年度	(宝繕)	214	年度(実績)	95左	F度(6年度			度(目標)	_	度(目標)
	-j r				22十段	八大順	20十尺	ズ順	411	一次(大順)	201	一又()		心一尺		_			
活		院診療日数		日							1		365		36	_	366		365
動	外	来診療日数		日									244		244	4	242	2	244
指																			
標											1		T					1	
夶	市」	7		人							1	7'	7,723		77,723	3	77,723	1	77,723
象	1[1]			八							1	1	1,140		11,14	9	11,14	<u>' </u>	11,143
象指																			
標									L		L							1	
成	1日	平均入院息	患者数	人									17.6		24.0	0	25.0)	26.0
果指		平均外来是		人									100.8		120.0		125.0		130.0
指	1 H	一ト・カノドノトル	±. □ %\	7.							1		100.0		140.	<u> </u>	120.0	+	100.0
標							1				1					1		1	

実施計画•事務事業評価共通調書

i)	①行政関与の必要性《目的達成に向けて,行政の行	節囲は行政の役割から見て適切か?また市民の意向や社会の要請から見て適切か?》					
业 要	②総合計画との整合性,対象と意図の妥当性《目的	(対象と意図)は総合計画と結びついているか?実態(社会環境の変化)に合っているか?》					
性評	☑ 適切である	高齢化社会に向け市民が安心できる医療を提供するために必要な事業である。					
価	□ 見直しの余地がある	即11任云に同じ申以が女心できる区原を促出するにめに必安な事業での分。					
	③成果の向上余地 《成果は, 昨年度と比べてどうで	ったか?工夫をすることで今後,更なる成果向上ができるか?》					
有効	④成果の波及効果《全市民,または多くの市民や他の	り施策への波及効果があるか?》					
性評し	□ 向上の余地がない	目指す医療は,あくまでも重装備な急性期医療ではなく軽装備な医療にた立ち,急性期を 経過した患者の受入や在宅医療に専念していく。					
仙	☑ 向上の余地がある						
- 7-1.	⑤事業費の削減余地 《活動量を下げずに事業費を	削減できないか?(仕様や工法の見直し,市民の協力など)》					
効 率	⑥人件費の削減余地 《活動量を下げずに人件費を削	域できないか?(業務プロセスの見直し、個々の業務の効率化等、業務委託や臨時雇用等)》					
性評価		PFI方式やDBO方式などの導入を検討し、施設の建設、維持管理、運営等に民間の資金、ノウハウ等を活用することで整備等にかかるコストの縮減を図る。					
1111	☑ 削減の余地がある	ESTATE AND THE STATE OF THE STA					
—}	次評価結果	全体総括(振り返り, 反省点)					
— }	次評価結果 必要性 ☑ 適切 □ 見直しの余地がある	事業の実施に向け「笠間市立病院建設協議会」を設置し、施設整備について病院の持つ					
— }							

【ACTION】事務事業の改革・改善	フォローアップ 前年度の課題や問題点	その他
①改革•改善案	③前年度の改革・改善案	⑤事務事業を休止, 廃止した場合の成果への影響の方無しるの対策
課題なし		の有無とその対策 ☑ 影響は大きく、問題の発生が予想される□ 代替案や対策を採ることで対応できる
		⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 (民間活動 も含む)
②改革・改善案を実現する上で克服するべ き課題と解決方法	④ 取組状況	☑ 他に手段がない□ 他に手段がある(事務事業名・活動名)
		名称 □ 他の事務事業や活動と統廃合や連携ができる
		□ 統廃合や連携はできない・既に連携している

【PLAN】事務事業の	の計画		
			評価理由
公 人 : (五)	今後の方向性	現行どおり継続	
総合評価	資源配分	現 状 維 持	市民に安心・安全な医療を提供するため、現行どおり継続実施する。